

## 教育振興運動推進事業

### 自治体名

岩手県岩手町

### 震災後の地域の状況・仮設住宅数

当町は岩手県の内陸北部に位置し、震災による大きな被害はないが、災害に対する住民の不安は高まっている。  
(仮設住宅数 0)

## <取組名> ～ 教育を高めて進む町づくり大会 ～

### 取組概要

実施形態 (該当に○)	自治体単独実施	団体等との連携実施	大学との連携実施	(連携している団体等・大学の名称)
		○		岩手町教育振興運動推進委員会
実施主体・ 場所等	コーディネーター数	ボランティア延べ人数	年間実施日数(回数)	活動場所
			1	岩手町スポーツ文化センター「森のアリーナ」

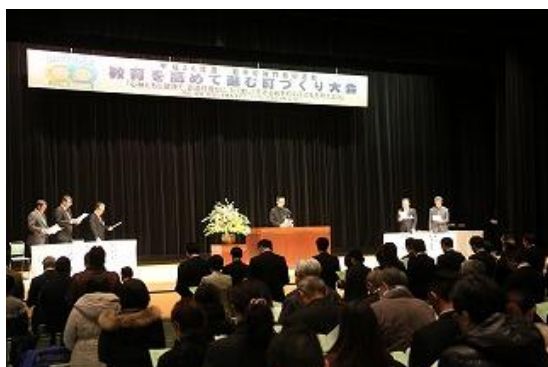
### 活動内容

※該当する内容に○

学校支援	学習支援	部活動指導	美化・環境整備	登下校指導	学校行事・その他
					( )
学校と地域の 協働学習	復興学習	防災教育	伝統文化・芸能	職業体験・キャリア教育	イベント・行事・その他
	○				( )
放課後等支援	学習支援	体験・交流活動	遊び・スポーツ	児童クラブとの連携	その他
					( )
家庭教育・ 保護者支援	家庭教育講座	親子参加行事	サロン・相談対応	家庭訪問相談	その他
	○				( )
地域課題に応じた 学習・交流	高齢者支援・世代間交流	心のケア・健康管理	生活再建・地域づくり	地域人材育成	その他
					( )

### 【教育を高めて進む町づくり大会】

- 趣旨 ふるさと岩手町を創造する「明るく・かしく・たくましく・豊かな心」を持つ青少年の健全育成を願い、「子ども・家庭・学校・地域社会・行政」はどうあればよいかを、各実践区の実践活動などに学び、教育振興運動を一層充実・発展させる方途を考えるとともに、本年度の重点目標「家庭学習の充実」と「読書活動の推進」の推進状況を確認する機会とする。
- 日時 平成27年2月1日(日) 9:00～12:00
- 内容
  - 開会行事 町花いっぱいコンクール表彰、町PTA 連合会表彰、町人権標語コンクール表彰
  - 成果発表 今年度各種コンクール入選児童生徒発表(作文・読書感想文)
  - 全体会 町内4実践区における教育振興運動実践事例発表
    - ①川口小学校実践区
    - ②浮島小学校実践区
    - ③沼宮内中学校実践区
    - ④東部中学校実践区
 ・コーディネーター 一方井中学校 副校長 工藤 良二  
 ・助言者 盛岡教育事務所 社会教育主事 山村 淳
- 閉会行事



取組の変遷

準備段階

◇被災による課題

- ・ 岩手町は、盛岡市の中心から北へ 30 km、北緯 40 度に位置し、「北上川の源泉のまち」、「彫刻のあるまち」、「ホッケーのまち」などさまざまな顔を持っている。
- ・ 震災による大きな被害はなかったものの、地域住民の自然災害に対する不安は高まっている。今後の町づくりを担う青少年の健全育成をより一層充実させていく必要がある。

◇住民等からの要望・必要な取組

- ・ 次世代を担う地域の宝である青少年を取り巻く環境や生活は、技術革新や情報化、国際化などの急激な変化、少子高齢化の進展などに伴い、青少年の問題行動や家庭及び地域の教育力の低下などが指摘されるようになり、さらには物質的な豊かさの中、明確な将来の夢や目標を描けないまま成長している子どもたちが増えている。そこで、このような変化に対応できるように、『生きる力(知・徳・体)』をバランスよく身につけることを継続して推進していく必要がある。



体制づくり・取組の実施

◇協力を呼びかけた団体・関係者、役割分担

- ・ 5者それぞれの役割を実践し、相互連携を強化する。
  - 【児童・生徒】心身を鍛え、進んで学習し、社会のために尽くす。
  - 【家庭】親としての自覚を持ち、家庭・地域内でそれぞれの役目を果たす。
  - 【地域社会】隣近所・地域の連帯感を高め、学習し、具体的実践に取り組む。
  - 【学校】家庭や地域との連携を深め、学習指導・校外指導等の充実に努める。
  - 【行政】教育振興運動を広く啓発し、情報提供に努める。

◇取組の充実や課題解決のための工夫

- ・ 各振興区において、統一実践項目として「読書活動の推進」と「家庭学習の充実」を取り入れ、具体的な実践として「ノーテレビデー」「ノーテレビタイム」を推進する。



成果・課題や今後の展望

◇これまでの取組による成果

- ・ 町内各地区において、「すきま読書」や「読み聞かせ」「親子読書」「本の紹介」などに取り組むことで、学校と地域・家庭が連携・協力した読書活動を推進することができた。
- ・ 学校と家庭が目標を共有し、家庭学習の習慣化と「早寝・早起き・朝ごはん」の励行による生活習慣の確立に努めることができた。ノーテレビ・ノーゲームデーの継続的な取組により、より一層の意識化が図られた。

◇復興に資する内容としての数値的達成の成果

- ・ 町内各振興区で実施する「教育振興の集い」と、町全域対象の「教育を高めて進む町づくり大会」には、延べ400名の町民が参加し、「青少年の健全育成」と教育を通じた「町づくり」について、意識を共有するとともに、理解を深めることができた。（昨年度の参加者 397 名）

◇課題や今後の展望

- ・ 今後も継続的な取組が必要であるとともに、スマホや携帯電話等、各種メディアに依存しない生活環境についても考えていく必要がある。